花の里 萌だより No.2707 花の里 萌だより No.2707

今月も多様な作品が出現まし 夏にちなんだたくさんの作七夕、海、花火、朝顔等、 危

品が完成しました。

まだ暑い

来月も作品作り、まだ暑い日々が続き

、よろ

ઉઈ

フ

B

E

イプ

0

島郷島 七月二〇日、

しくお願いします。

頑張って作って下さいまし日ですが、夏の作品作りを七月に入って夏。暑い毎























海の日なのでてきました。

言う事

つ美ドと

海の









海の日なので 人出も多く、 くさん居るわ くさん居るわ と、人の しかし、「き しかし、「き た。 と、人の で た。 た。 た。







んビックリと同時に大変喜ばれるまりの見事なスイカに、皆さで出来た物です」と頂きました。ご家族の方から、「お家の庭」 ました。

さらに喜ばれていました。 させてもらい、 半分に切り、 その美味 みんなで味見 しさに を



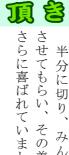
皆様喜ば

れて

る海

戦前に広が になが

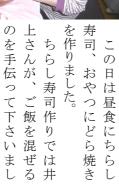












もうちょ ŧ よよっかも

と皆で、 焼き し加

出来映えでした。ら焼きも味も形と 皆で協力 K のど

緒







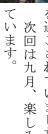
さい

した。

らら?こ

から「知っとる」、を言われると、利の曲はどうかしら がり、 ずさむ方もおられました。 mはどうかしら」 「何を歌おうか. 、演奏が始まる前に口知っとる」と声がしわれると、利用者のおけどうかしら」と曲々はどうかしら」と曲々

を過ごされていまし緒に歌を歌って楽し たくさん演奏を聞き、 い時間







9

「そうじゃなー、何にしようか…」「何を歌いましょうか?」と聞かれる

カードを 皆さん、

<u>ا</u> کر

ました。

- ドをめ

2

@

and a

y

4

@

分

を寒

6

T

न

લ્યી

うひっくり返してまおやつ作りでは、

和〇〇年頃の歌でする者の方が、「この世界の方が、「この世界の大学を表現している。

オンの

と説明されると、

しゃべりが知りたいで

にでて

を過ごす事が出すねー」とおっておりません。

減の相談をしながら楽 とじゃ」 ろう」「いや、 く作りました。

グループホーム













毎度お馴染みになった「かもがた茶

に咲いた

に「ひまわり」をは一」と相談し、

一を見に行くことし、結果、きれい

になり、 途中、

「しんどいわ吉備路に向かい

ま

昼食後、











美味しいパンケーキセットを食べた後の記念撮影です。お腹が 満足したせいか、表情もにこやかですね。













乗せて頂き、仲良く一にカフェに行き、パンケー」と言われながした。「こんなん食べんわー」と言われながも、気がつくと「おいかったー」とお皿にはかったー」とお皿にはおがったー」とおいませんでした。がったー」とおいませんでした。がったー」とおいませんでした。 他者様の車

になながれました。 はいられました。 にながれました。 にながれました。

気た。

を見て、「暑い海水浴を楽しん 昼食後、 玉島の イブに行ってきま を見て、「暑いから、気海水浴を楽しんでいる人とっても天気が良く、 沙美海が と気人 ラで

身体を包まれながら楽し万の海を少しの間眺めて、夏の海を少しの間眺めて、 やつのケーキを 外が暑かった 。 たの ※ ら楽し

も美味し たア と緒った て出お







おる け

寿司とうどん

 \mathcal{O} セッ

し上がってい

「おい

が ク なが な

ちょっとておられま

また出

たかしら?

昼からはメ

は気分転換になっ

「天霧」

まで行ってきました。

お

と言わ

りま

行こう」と即答があり、

食べに行

と尋ねると

う うど

出掛けることにな

わな

クわな「パれいわ

「ご飯でも食べに行きま

0

るやつか





と小さいな」とおこ 人で話合いながら作っ





変喜ばれていました。「ありがとう」と大

「おい

ので、おだんごを乍り、いったか?」と利用者様と話しになったっく目のおやつは何を食べます

またお願

良いかな?」「ちょった。「この大きさで お二人が生地から作っ川上様、遠山様の



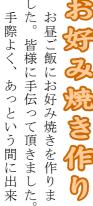












緒に

れ

つ

上が した。 「お 「おいしいなー」

いきましょうね。 美味しい物を作っ また皆様と一緒





